

## 特集企画の趣旨

# 特集：東日本大震災から10年 災害を再考する ～災害弱者・災害救助への注目

21世紀に入ってからの20年間に、世界では自然災害が7,348件発生している。最も多く発生した自然災害は洪水(3,254件)で、次に暴風(2,043件)、地震(552件)、極端な気温差(432件)、地滑り(376件)などが続いた<sup>(1)</sup>。これら世界で発生した自然災害によってこの20年間で、40億人以上が被災し、120万人以上が命を落とした。経済損失は2.97兆ドルにのぼった(CRED・UNDRR2020:6-7)。災害は自然災害のみではないことから、実際にはこの20年の間に、世界において災害によってさらに多くの人々が苦しみを味わったと考えられる。

国内に目を転じてみると、2000年以降、比較的規模が大きい自然災害は40件以上発生している。なかでも、地震や台風、竜巻、豪雨などが多くみられた。2011年には東日本大震災を経験し、地震や津波で多くの人々が被災し、尊い命も失うことになった。

2021年は東日本大震災から10年の節目に当たる。この間、災害についてさまざまな考えを巡らせ、災害を予防する行動に取り組んできた人も多くいるであろう。本特集は、この節目の年に、「東日本大震災から10年 災害を再考する ～災害弱者・災害救助への注目」と題して、ここでふたたび災害について考え、防災・減災への理解を深めることをねらいとし、3名の研究者による論考から構成した。

第一論文の飯塚論文では、災害弱者に焦点をあて、なかでも女性、障害者、外国人を取りあげて論じている。女性は「女性だから」という理由で災害弱者に陥りやすいと考えられる、と指摘したうえで、災害現場において女性が直面する問題を詳細に分析し、今後、国の防災基本計画において、女性の目線と参加が求められることに言及している。障害者や外国人に対しては、適切な支援と多様な情報提供の手段を整備し、支援体制を構築する重要性を指摘している。飯塚は、災害弱者を発生させないためにも、平時からの取り組みが重要であると述べ、男女共同参画や障害者福祉、多文化共生などの各政策の延長上に、災害支援を位置づける必要性についても触れている。防災研究者ならではの視点が盛り込まれた示唆に富む論文である。

第二論文の酒井論文は、観光地を訪れる日本人観光客、ならびに外国人観光客の避難行動について取りあげている。実際に、姫路城を訪問した日本人・外国人観光客を対象に、アンケート調査を実施し、観光客の避難行動分析の結果について述べている。日本はこれまで、訪日外国人を大幅に増やす方針を示す一方で、災害発生時に外国人観光客の退避に関する支援については、決して十分に論じられてこなかった。また、日本人観光客であっても、観光地の災害情報には不案内であり、避難に際して支援を必要とすることから、観光客への退避支援は重要である。観光客と防災をテーマにした研究が少ないなかで、建設的な議論に結びつく論文であるといえるだろう。

第三論文の真殿論文は、災害を再考するに際して、災害のとらえ方について整理したうえで、現代中国社会における防災に関する法の整備と災害救助システムを中心に論じている。中国は“多災之国”と称されるほど、世界でも有数の災害多発国家である。世界で発生する災害を防ぐために、他国がどのような取り組みを行なっているのかに目を向けることは重要である。真殿は現代中国社会の民生（人々の暮らし）問題を研究する立場から、民生に重大な影響を与える災害を防ぐために、関連する法において個人の役割をどのように位置づけているのかに注目し、詳細に検証している。また、中国社会において総合的な災害救助システムを構築するために、商業保険を含む災害への保険補償の意義を浸透させようとしていることや、慈善事業・寄付文化も育んでいこうとしていることについても言及している。隣国が防災・減災に向けて、いかなる手立てを講じているのかを知るうえで、一読の価値がある論文であるといえる。

前者2名は日本における視点を論じ、後者1名は中国社会の災害救助について論じ、日本と中国双方の社会が抱える災害をめぐる課題に果敢に挑んだ。本特集が、災害についていま一度考え、防災・減災への理解を深める一助となれば幸いである。

## 謝 辞

本研究は、2020-2021 学長所管研究（研究題目：「大学の災害対応と地域貢献に関する研究」研究代表：飯塚智規）より助成を受けた。記して謝意を表す。

## 《注》

- (1) CRED・UNDRR (2020) の報告書では、災害を自然災害に限定している。また、この報告書では1980-1999、2000-2019年の期間に、世界で発生した自然災害を9種類に分類している。6番目以降は次のとおりである。干ばつ (338件)、山火事 (238件)、火山 (102件)、マスマーブメント (13件)。

## 参考文献

CRED, UNDRR (2020) *The Human Cost of Disasters — An overview of the last 20 years 2000-2019*.  
[https://www.preventionweb.net/files/74124\\_humancostofdisasters20002019reportu.pdf](https://www.preventionweb.net/files/74124_humancostofdisasters20002019reportu.pdf).

研究代表者 真殿 仁美